日本BS放送株式会社

2018年8月期 第3四半期

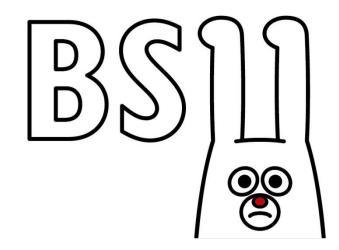
(決算補足説明資料)

2018年7月4日





I 決算概況





2018年8月期 第3四半期 総括

売上高 9,028百万円(前期比 8.2%増)

営業利益 **2,049**百万円(前期比 17.1%増)

- 売上高は、良質な自社制作番組と人気番組の購入による広告枠付加価値 向上により増加
- 番組視聴世帯数増加を目的とした積極的且つ効果的な広告宣伝の実施
- 営業利益は、効率的な原価・経費使用に努め、前年を大きく上回って推移

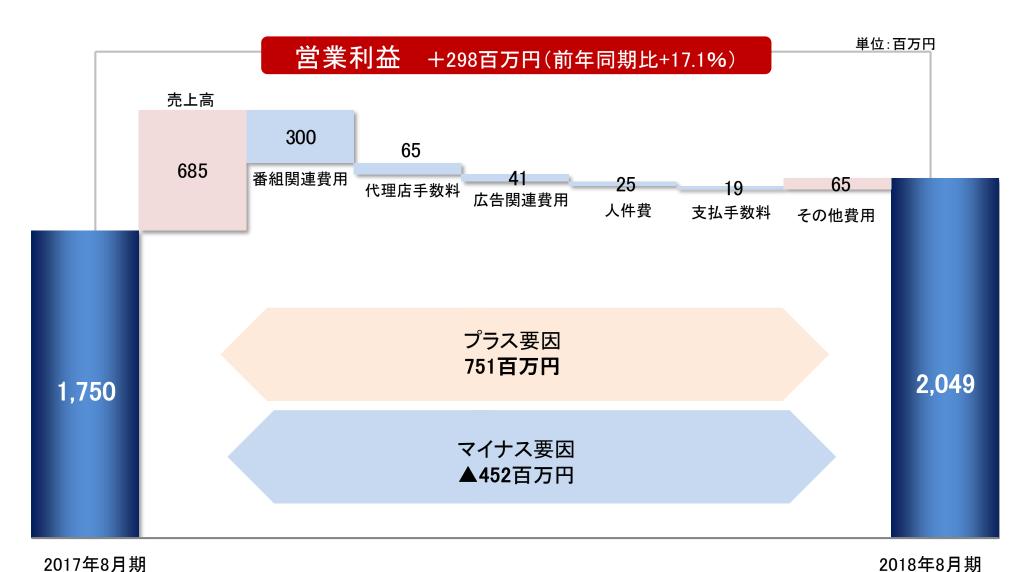


(単位:百万円、下段は構成比)

					(単位:日万円、下段は構成比)		
	2017年8月期	2018年8月期 第3四半期累計					
	第3四半期 累計	実績	前年 同期比	増減額	主要な増減要因		
売上高	8,342 (100.0%)	9,028 (100.0%)	+8.2%	+685	(売上高) ・タイム収入 ··· +388百万円 ・スポット収入・·· +239百万円 ・その他収入・·・ +57百万円		
売上総利益	4,392 (52.6%)	4,829 (53.5%)	+10.0%	+437	(段階利益)		
営業利益	1,750 (21.0%)	2,049 (22.7%)	+17.1%	+298	・売上高の増加及び売上原価・販管費の効率的使用による利益増加 ≪利益増加の具体的要因≫ 売上原価:		
経常利益	1,752 (21.0%)	2,051 (22.7%)	+17.1%	+299	 ・良質な番組制作、人気番組の購入に伴う番組関連費用を効率的に使用 販売管理費: ・広告宣伝費の投下を積極的且つ効果的なタイミングを見極め実施 		
四半期純利益	1,196 (14.3%)	1,404 (15.6%)	+ 17.4%	+208	・その他経費項目を効率的に使用		

第3四半期累計





 $\label{lem:copyright one BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.}$

第3四半期累計



(単位:百万円、下段は構成比)

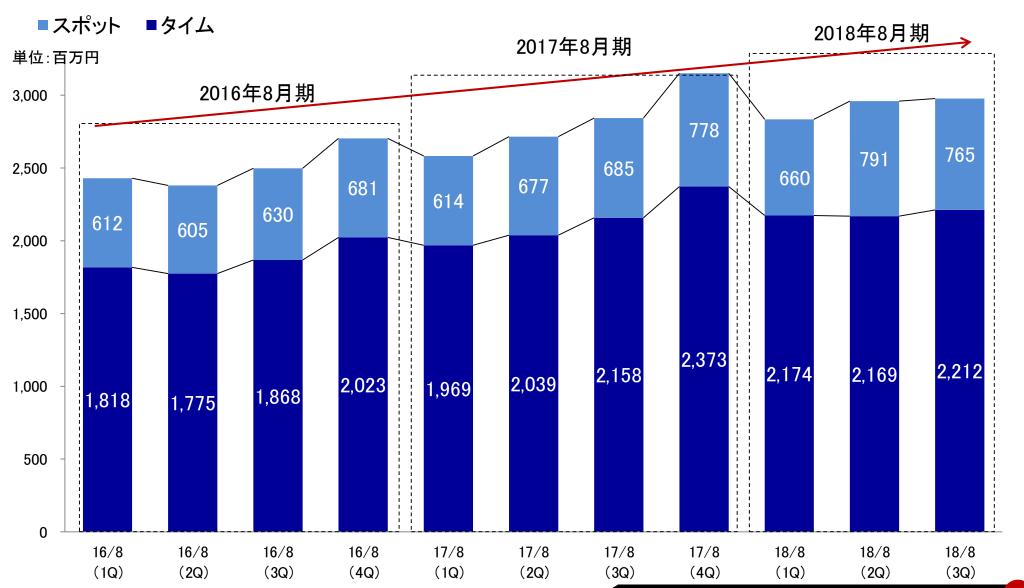
		2017年8月期	2018年8月期 第3四半期累計		
		第3四半期累計	実績	前年同期比	
売上高		8,342 (100.0%)	9,028 (100.0%)	+8.2%	
	タイム収入	6,167 (73.9%)	6,556 (72.6%)	+6.3%	
	スポット収入	1,977 (23.7%)	2,217 (24.6%)	+12.1%	
	その他	197	254 (2.8%)	+29.0%	

主な増減要因(前年同期比)

- タイム収入
 - ・良質な番組制作と戦略的且つ積極的な広告宣伝実施に伴い、番組提供枠販売が堅調に推移
 - ・通販枠販売が引き続き堅調に推移
- スポット収入
 - ・BS放送の媒体価値向上に伴い、純広スポット販売が堅調に推移
 - 人気ドラマを効果的に編成することで、通販スポット販売が好調に推移
- その他
 - ・アニメ製作委員会への出資に伴う配当金収入、番組販売に伴う収入等の増加



◆売上高の変動に季節的要因はなく、引き続き増加トレンド





(単位:百万円、下段は売上比)

					(単位:日万円、下段は元工氏)	
		2017年8月期	2018年8月期 第3四半期累計			
		第3四半期累計	実績	前年同期比	主要な増減要因	
番組関連費用(原価)		2,477 (29.7%)	2,778 (30.8%)	+12.1%		
	番組購入費	414 (5.0%)	467 (5.2%)	+13.0%	・海外ドラマやドキュメンタリー番組等の人気作品 の購入による増加	
	番組制作費	2,063 (24.7%)	2,310 (25.6%)	+12.0%	・良質な番組制作に伴う、番組内容のより一層の充実による増加(キャスティングの強化等)	
放送関連費用(原価)		472 (5.7%)	472 (5.2%)	+0.0%		
	放送委託費	416 (5.0%)	416 (4.6%)	-		
	技術費	55 (0.7%)	56 (0.6%)	+0.2%		
広告関連費用(販管費)		804 (9.6%)	845 (9.4%)	+5.1%		
	広告宣伝費	743 (8.9%)	786 (8.7%)	+5.8%	・4月番組改編に伴い、効果的なタイミングを見極め戦略的且つ積極的に費用投下したことによる 増加(新聞・チラシ・交通広告等)	
	販売促進費	60 (0.7%)	59 (0.7%)	▲3.1%		



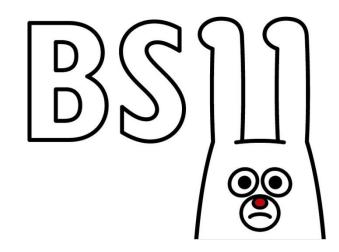
(単位:百万円、下段は構成比)

	2018年8月期 第3四半期累計
	実績
売上高	9,195 (100.0%)
売上総利益	4,958 (53.9%)
営業利益	2,064 (22.4%)
経常利益	2,062 (22.4%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,400 (15.2%)

	(単位:日万円、下段は構成氏)
	2018年8月期
	第3四半期末
流動資産	11,677
固定資産	6,974 (37.4%)
ì計	18,652 (100.0%)
流動負債	2,030 (10.9%)
固定負債	99 (0.5%)
ì i t	2,129 (11.4%)
合計	16,522 (88.6%)
純資産合計	18,652 (100.0%)
	固定資産 計

※2018年8月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年同四半期の数値については記載しておりません。

Ⅲ 通期計画





売上高は13,000百万円、営業利益は2,240百万円、 親会社株主に帰属する当期純利益は1,545百万円を計画

(単位:百万円、下段は構成比)

	2018年8月期			
	第3四半期累計	通期計画		
	実績	計画		
売上高	9,195 (100.0%)	13,000 (100.0%)		
営業利益	2,064 (22.4%)	2,240 (17.2%)		
経常利益	2,062 (22.4%)	2,245 (17.3%)		
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,400 (15.2%)	1,545 (11.9%)		

※2018年8月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年同四半期の数値については記載しておりません。



売上高は12,750百万円(前期比10.2%増)、営業利益は2,230百万円(前期比0.1%増)、 当期純利益は1,540百万円を計画(前期比1.4%増)

(単位:百万円、下段は構成比)

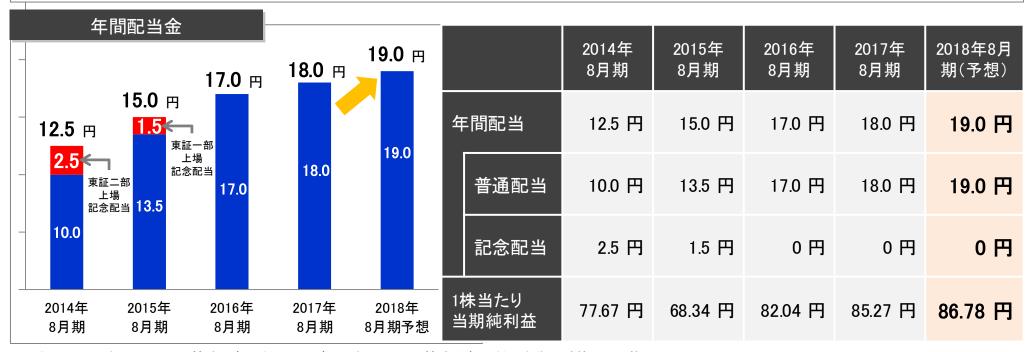
		2017年	8月期	2018年8月期				
		第3四半期	通期	第3四半期累計		通期計画		
		累計	迪 朔	実績	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売.	上高	8,342	11,569	9,028	+8.2%	12,750 (100.0%)	+10.2%	+1,181
	タイム収入	6,167 (73.9%)	8,541 (73.8%)	6,556 (72.6%)	+6.3%	9,062 (71.1%)	+6.1%	+520
	スポット収入	1,977 (23.7%)	2,755 (23.8%)	2,217 (24.6%)	+12.1%	3,282 (25.7%)	+19.1%	+527
	その他	197 (2.4%)	272 (2.4%)	254 (2.8%)	+29.0%	405 (3.2%)	+48.9%	+133
営	業利益	1,750 (21.0%)	2,227 (19.3%)	2,049 (22.7%)	+17.1%	2,230 (17.5%)	+0.1%	+2
経常利益		1,752 (21.0%)	2,231 (19.3%)	2,051 (22.7%)	+17.1%	2,235 (17.5%)	+0.1%	+3
当	期純利益	1,196 (14.3%)	1,518 (13.1%)	1,404 (15.6%)	+17.4%	1,540 (12.1%)	+1.4%	+21



期末配当金を1円増配、19.0円を計画

配当政策の基本方針

- ・当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、 財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、 長期にわたり安定した利益配当を継続的に実施する方針です。
- 年1回の期末配当を行うことを基本とします。



(注) 1. 2013年12月16日付株式分割(1対2)、及び2014年8月1日付株式分割(1対2)を遡及計算して記載。



株主優待制度の概要

- ・8月末日、2月末日を基準日として、年2回の株主優待を実施
- ・ビックカメラグループ全店で利用可能な「ビックカメラ商品券」1,000円券1枚を贈呈
- ・各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単元(100株)以上保有されている株主様が対象

長期保有株主優待制度の概要

- ・以下の2要件の両方に該当する株主様に対し、「ビックカメラ商品券」(1,000円券)を追加贈呈。
- ①基準日(毎年8月末日、2月末日)の当社株主名簿に連続3回以上同一株主番号で記載または記録されたこと
- ②当社株式1単元(100株)以上を継続して保有されていること

基準日		2月末日	8月末日	
贈呈時期		5月	11月	
聯口中家	株主 優待制度	************************************	商品券 ※★チ丹 ※1990 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	
贈呈内容	長期保有株主 優待制度		************************************	



持続的成長に必要な 『 4つの"力"』

企画"力"

プロデュース"力"

キャスティング"力"

マーケティング"力"

企画 力 Planning	視聴者やクライアントのニーズを捉え、的確な企画立案
キャスティング 力 Casting	映像の「商品価値」を高めるスタッフ・出演者のキャスティング
マーケティング <mark>カ</mark> Marketing	データベースを用いて潜在的な需要を喚起し効果的に戦略実行
プロデュース 力 Produce	皆様の役に立つ、質の高い情報・番組を提供・制作

重点施策としての 『 5本の矢 』



1. 自社制作番組の充実と拡大

- ・人気番組に集中して資源を投下
- ・番組を「作品」から「商品」へと昇華



2. 情報番組の選択と拡大

- プレミアエイジへのホスピタリティの強化
- ・イベント等番組連動企画の立ち上げ



3. アニメ番組の強化

- ・得意分野の更なる強化
- 目指すのは「アニメといえばBS11」



4. ローカル局とのコラボ

- ・独立ローカル局の強みを生かした差別化施策
- ・日本各地の「いいもの」を全国へ発信



5. スポーツコンテンツの充実

- 新たなニーズの発掘
- 「BS11ならでは」のコンテンツ作り

BS11日本BS放送

新番組・リニューアル番組の一部(2018年4月~)



毎週水曜 18:59~



毎週金曜 18:59~



毎週金曜 22:00~



毎週月曜~金曜 20:59~



毎週月曜 23:30~



毎週日曜 22:00~

→ 開局11周年を迎える今年の4月番組改編キーワードは「本格思考・本物指向」 視聴者の皆様のニーズを捉え、番組内容を更に充実!



アニメ番組の強化

◆製作委員会出資作品(2018年3月~2018年5月)





(C)TADAKOI PARTNERS



cはんざわかおり・芳文社/こみっくが一るず製作委員会

当期製作委員会に出資した3タイトルを含め、およそ40タイトルのアニメ番組を毎週放送!



ローカル局とのコラボ

◆KBS京都・石川テレビと共同製作







スポーツコンテンツの充実

◆2020年に向けて





ローカル局とのコラボレーションを積極的に実施 ➤ BS11ならではの豊富なコンテンツをお届け





特別番組

◆開局11周年特別番組



ナビゲーター: 南こうせつ



⇒ 特別番組も積極的に放送、視聴者の皆様から好評を頂きました



BS11 オンデマンド配信

◆見逃した方へ



ニュース・経済、エンターテインメント、スポーツ様々なジャンルに加え、BS11エンタメトピックスを無料で配信。

➤ 認知向上及びリアル視聴獲得!



イベントへの出展

·AnimeJapan2018



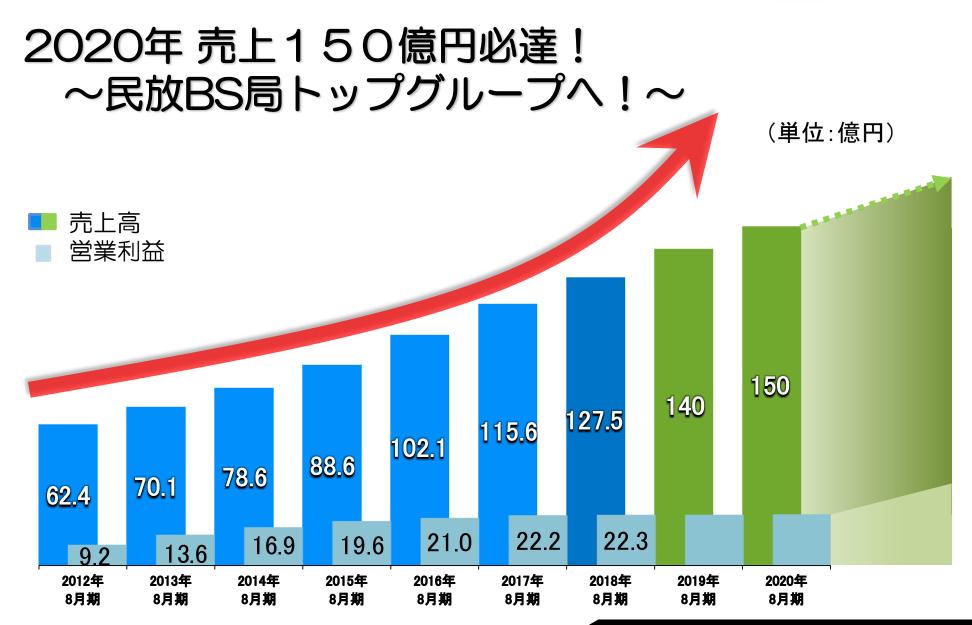
・東京モーターサイクルショー



来場者14万人を超える大規模イベント。 関連する番組を今年も継続して出展。

⇒ コアファンに向けて番組の魅力を強力に訴求







- □ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- □ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- □ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。 その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他 の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性 があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL http://www.bs11.jp/

